

令和5年度 学校運営協議会活動報告

実施日	第 3 回 令和 6年 2月 17日
運営協議会委員の意見	<p>○令和5（2023）年度の学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を多く行っているのは子どもにとって良い。思い出作りにもなる。小さい時の体験が、将来に生きてくる。小学校や中学校での職業体験が重要である。 ・6年生の公園清掃ボランティアの活動が印象に残っている。どの子も一生懸命働き、良い意味で驚いた。ウインドベルの体験にも熱心に取り組む姿があり、楽しかった。 ・ボランティアの数が他校と比べて非常に多い。子どもたちも慣れてきて、名前を呼んで話しかけてくれるようになった。 ・ボランティアをしていて、子どもたちにとって課題が難しいのではと思う場面があった。児童の発達段階に合わせた指導を行ってほしい。 ・自分の子どもがあいさつをだれにでもできるようになったのは、「あいさつ」を重点課題にして取り組んでいる二小の環境が影響している。学校が好きでいろいろな体験を楽しんでいる様子から、二小でよかったと思う。 ・あいさつをする児童の割合が増えているのは、地域のあいさつ運動の効果の表れである。 ・地域の人と話す中で「二小が小規模校で良かった。細かくきっちり見られている」という意見を聞いた。 ・いじめは昔からどの学校でもあるもの、学校に求めるのはいじめがわかった時の対応の早さや方法である。次の日から、子どもが笑顔で登校できるようにしてほしい。 ・授業や学力に対する保護者アンケートは参考程度に考えてくれればよい。 ・縦割り活動は、子どもたちにとって非常に大切な活動である。 ・PTAから地域への要望も聞かせてほしい。 ・子ども同士名前を知っているので名札は必要ないのではないかと思う。 回答→子ども同士、また教師も名前を知らない児童がいるため、名札は必要。 <p>○令和6年度 グランドデザインについて了承していただく。</p>
その他参考となる事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会として市教委に要望書を提出する件について話し合う。 ・地域の児童登下校見守り活動について話し合う。